

テレビへの支出

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

新年を迎え、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

テレビを囲んで一家団らん、正月番組などを見て過ごされた世帯も多いことと思います。2011年7月の地上アナログテレビ放送の終了が迫り、地上デジタルテレビ放送を視聴するためにテレビの買い替えを検討されている世帯もあるかと思えます。そこで今回は、テレビへの支出についてみてみましょう。

テレビへの支出動向の変化

テレビの1世帯当たり年間支出金額及び平均購入価格について平成12年から19年までの推移をみると、年間支出金額については14年以降、毎年増加傾向にあり、19年は12年の約2倍となっています。また、平均購入価格については平成17年以降3年連続して10万円を上回って推移しています（図1）。

テレビの平均購入価格が低い沖縄地方

次に、平成19年の1世帯当たり年間支出金額及び平均購入価格を地方別にみると、年間支出金額については中国地方で16,771円と最も多く、次いで九州地方、関東地方などとなっており、沖縄地方で最も少なく2,872円となっています。また、平均購入価格については、沖縄地方が最も低く95,247円と10万円を下回っています（図2）。

テレビの平均購入価格が高い29歳以下の世帯

最後に、平成19年の1世帯当たり年間支出金額及び平均購入価格を世帯主の年齢階級別にみると、年間支出金額については60歳～69歳の世帯で18,131円と最も多く、次いで50歳～59歳の世帯、70歳以上の世帯などとなっており、30歳～39歳の世帯で最も少なく8,802円となっています。また、平均購入価格については、29歳以下の世帯が最も高く318,567円となっています（図3）。

このように、家計調査では、地域性や世帯主の属性による支出金額の違いも把握することができます。

